

★この学習会はこんなふうになりました★

1ある日の世話人会

このごろヘリコプターが前よりたくさん飛んでいると思わない?

双発っていうの?プロペラが二つあるのも飛んでる。

どこからどこに飛んでるの?

灰色っぽいのが多いね。なんか不気味。病院のヘリなら赤でしょ?!

前はずっと高いところをたまに飛んでいたけど、今はびっくりするほど大きいよね。

まず調べてみよう。

自衛隊?米軍?日本中にある演習ルートとの関係はあるの?

※前に問い合わせたときの解答 (「9の日ちらし」No.13 参照)

★自衛隊北関東防衛局報道課報道官:

「関係部署に問い合わせたが、該当なし」

★入間基地:「世田谷は飛んでない。その他の質問の内容は、全て関係部署に伝えてある」



2上空を飛ぶ機体観測——とにかく記録しよう

機体の数と種類・飛行時刻・方向調べれば調べるほど何が起きているか不安になり、地域の皆さんと一緒に考えよう、学習会をしようということになりました。

3チラシを配る (成城学園前・祖師谷大蔵駅前)

チラシを読んで話しかけてきた方が何人も。やはりみんな気になっていたのだ。

(チラシを見て)「そうだったの」「こわくなる話よね」

「この頃飛行機の音が大きくて、寝ていた赤ん坊が目さますんです。原因はわかるんですか」

「最近、成城の上を飛ぶ飛行機が多いような気がするのですが、気になるのは私だけでしょうか」

「最近うるさくなっているけどどんな飛行機なのかよくわからないままでした」

など

「爆音はずっと気になっています」

★今年になってから数も増え、音も大きくなっているようです★

連絡してみるなら ★世田谷区環境保全課03-5432-2276

★北関東防衛局報道課 048-600-1804

★入間基地対策課04-2953-6131 ★防衛省 03-5366-3111

大きなヘリコプター・飛行機!!
朝から夜まで大きな音!!

『世田谷の空は米軍機と自衛隊機の交差点?!』

昨年12月、東京の空の様子にくわしい岸本正人氏(東京平和委員会事務局長)を招いて、お話を聞きました。



参加できなかった方から「私もこの頃の低空飛行が気になっていました。学習会の様子をぜひ皆に知らせてほしい」というお声をいただき、報告号を作りました。ぜひ、お読みください。



成城・祖師谷地域「九条の会」

《機体観測報告》 講演の前に観測したデータをグラフ化して説明しました。

《講演の概要》

◆東京を取り巻く米軍基地・自衛隊基地・駐屯地

- ・東京にある8つの基地のひとつ横田には4000mの滑走路があり、米人5,000~6,000人、日本人従業員2,000人がいる。
- ・広尾にあるニューサンノー米軍センターでは日米合同委員会（日米地位協定などを協議）はここで開催されている。
- ・神奈川の横須賀、厚木基地からはニューサンノーにヘリが飛ぶ。
- ・世田谷は用賀に自衛隊の駐屯地がある

◆各地の被害と世田谷の空がうるさいわけ

- ・関東平野では横田基地所属機による有視界飛行コースがあって500m以下で訓練を実施している。有視界飛行の時は電車線路、高速道路を目印として飛んでいる。
- ・2013年の（朝霞）自衛隊観閲式での飛行（V字形）のために10月に3週間、11月16日も20機余りで上空150mで訓練、このため非常にうるさいとの苦情が住民から練馬区役所に出され区役所から自衛隊へ市民の声を連絡した。
- ・美濃部都知事時代には、自衛隊の訓練をさせなかった。自衛隊は都心でやりたい、見せたいとの意向が強い。
- ・調布飛行場は横田基地所属機が緊急の着陸地となっている。訓練機は学校や広い公園を緊急退避地として飛んでいるので校庭に降りる可能性がある。実際に沖

で、校庭に降りる可能性がある。実際に沖縄では小学校に降りた例がある。

- ・縦のライン（南北ルート）は米軍機が厚木、座間から赤坂プレスセンターに飛行し、横（東西）のラインとして自衛隊機が飛んでいるため安全な場所ではない。

◆どうやって止められる？

- ・飛行データを取り、地元の住民が声をあげることが重要。群馬県では飛んだらカレンダーにつけている。
- ・高知県では飛行機の後ろ姿を観測記録している。埼玉でも低空訓練の情報を集めている。渋谷、玉川、砧でも苦情が出ているが点で観測データを押さえると繋がってくる。データをもとに防衛省に言うと多少は聞いてくれる。
- ・都心に基地は危険、生活の場を守る立場で関係当局との交渉を続けて行くことが重要。
- ・練馬では朝霞での観閲式や自衛隊式等での被害がでており、区を巻き込んでの対策で事前通知、飛行ルートの変更をさせている。



- ・沖縄には爆音などの問題を受け付ける窓口がある。沖縄以外では東京都にはあるが米軍には言うが自衛隊には言わない。飛行禁止、ルート変更、高く飛べ、学校の上空を飛ばなとか言っていく必要がある。

◆気になる秘密保護法との関係

- ・機密保護法は廃案にする必要があるが、今でも秘密はある。法案がどうなるかわからないが、市民が知る情報と言っても、もらった情報で役所に聞きに行くのであまり自己規制はしない。

◆オスプレイは東京に来るか？

- ・オスプレイを米国の要請で自衛隊が買うと言っている。来年10月にくる予定。米国司令官の食事中への質問で判明した話だが政府は知らないと言っている。
- ・オスプレイの訓練は（人や建物がない場所は別として）アメリカではできない。日本では人や建物があるところで訓練ができて良い（とアメリカは思っている。）
- ・軍隊は法を守らない。軍隊が存在する限りは被害はなくなる。被害はお金で帰ってくるのみなので根本を直す必要がある。

◆自衛隊は災害部隊に

- ・自衛隊廃止は振り向きがない（世論の支持が得られない）。災害復旧で頑張っている、災害に使え災害部隊にしていく声が多くなってきている。自衛隊装備を軍事から災害対応に向けべき。

- ・アメリカは今、基地負担のお金がないので「思いやり予算」をやめて基地をなくすチャンスだ、
- ・（安全な街づくりの）活動をして行く必要があり、日本平和委員会も地域での活動の手助けをする。飛行機体が墜落してからでは遅いし飛行回数が増えることで事故確率が高まる。

《質疑》

★11月25日8:30 戦闘機2機が、窓が振動するほどの爆音をたてて飛来した。世田谷区の環境保全課に問い合わせしても何も把握していない。世田谷区からは防衛省にリサーチして連絡するとの返答をもらったが住宅密集地を飛ぶことをどうして許されるのか。飛ぶことはおかしい。

⇒岸本氏のお話

★横須賀入港の原子力潜水艦空母ジョージ・ワシントン（GW）は、年の2/3は戻っている。群馬で艦載機が訓練する時は粕江、調布を通過する。

- ・航空法第81条で最低安全高度が定められており自衛隊の飛行もそれに準ずるが、しかし自衛隊機は取り締まる人がいないので道交法適用のパトカーと同様にパトカーは違反しないと同一理屈で飛んでいる。
- ・役所に連絡や問い合わせをすることも大切。区民はこんなふう困っているということを行政に伝えると、区もそれなりの対応をしやすい。

